

台湾でのお産と子育て

(2) 出産、産後の回復とケア、坐月子（ズオユエズ）

海外出産・育児コンサルタント

Care the World 代表

ノーラ・コーリ

【 パースプラン 】

日本では帝王切開は二次的なもの、もしもの時にと考えている人が多いでしょう。一方、台湾では帝王切開を始めから希望する人がいます。あえて帝王切開を希望するのにはいくつかの理由があります。縁起のよい日に出産、陣痛の痛みを回避、仕事のスケジュール上、産後の性生活への配慮、病院側のスタッフ確保といったことでした。特に誕生日は運命を左右するという信仰があり、占い師に相談して選んでもらいます。さらに帝王切開の時間を合わせようとする人もいます。しかし、病院側の主張は異常がない限り帝王切開は行われていないとのことでした。逆子のような場合はリスクをあえてとらないようです。

以下、この記事の本文は下記の URL にて閲覧ください。

会員限定ですので、会員企業様に配布している ID(ユーザー名)とパスワード入力をお願い致します。

* ニュースレター配信用の個別 ID、パスワードとは別ですのでご注意ください。

<https://jomf.or.jp/login/pdf/2019/11/963/201910Taiwan2.pdf>